



松葉杖体験（目隠しをした状態で歩行する体験）

東邦大学薬学部では、昨年度から早期体験学習の一環として、学内で「障害者」を疑似体験するプログラム「不自由体験」がスタートした。「本物から学ぼう」を原点に、実際の車イス生活の人が何人もボランティアで学生指導に当たっている。学生は車椅子体験のほか松葉杖体験、老人体験を経て、小グループで意見交換・討論をし、感想文をまとめる。大学で指導に当たっている柳川忠二教授は「医療の根源は『いつか自分、いずれ自分』、体験することの意義は大きい」と語る。

6年制薬学教育制度が昨年度から始まり、同時に早期体験実習が実施されている。東邦大学でも他大学と同様に、病院や薬局の見学



SGD（共通の体験を基に皆で話し合う）

東邦大学薬学部 早期体験学習の一環 “本物から学ぼう”

ている。

特に車椅子体験では、実際に車椅子生活を余儀なくされ「車椅子フィッティングマスター」として、福祉用具専門相談員の仕事をこなしている人など、十数人のボランティアの協力・指導のもとに、①階段での抱え上げ②トイレの使用体験③スロープ④ダート走行⑤エレベーターの乗り降り⑥観音開きドアの開閉——などを体験する。さらに、日常体験を通じ、スーパーに行ってもある一定の高さの商品には「手が届かない」、常に上から見られることにより威圧感を感じるなど、不自由さの実際が学生に伝えられる。

松葉杖体験では、①片足歩行体験②盲目者歩行



車椅子体験（段差や階段での抱え上げの仕方、注意点を学ぶ）

「障害者」疑似体験で 心の痛みに触れる

などを中心に、7日間程度の日程が組まれている。この中に1日かけて障害者に学ぶ「不自由体験」プログラムが盛り込まれ



柳川氏

体験など、片足を縛って松葉杖を使ったり、目隠しの状態で歩行することの大変さを経験する。また、老人体験では筋力などの衰えを擬的に課し、①白

内障模擬患者②階段歩行③起き上がり動作——などを体験する。

今年の体験内容は前回と同様。老人体験を例に挙げれば、“新聞が読みづらい”など一般的な状態が主であった。そこで来年度以降は、その実績を踏まえ「薬の取り扱いについて体験させたい」という。薬にもいろいろな色がついており、包装も様々だ。障害の状況によっては健常者が気づかない多様な影響が出てくる。逆に様々な障害者に対し、どう服薬指導するかも課題になる。そのためにも「普段から障害を持った方々の辛さを知っておくべき」と語る。

柳川氏は「不自由体験で何人かの学生が、『心の問題を知り得た』と言ってくれている」と顔をほころばす。「アメリカのことわざに『良い医者になるならば患者になりなさい』というのがあります」と意義を強調した。

nisy 日本医歯薬研修協会

医学・歯学・薬学
医療系国家試験対策



薬学生 薬剤師国家試験対策講座

- 一年コース 《平成19年6月4日～国試直前》
基礎から応用まで時間をかけて学習する講義展開が、国家試験合格を堅固なものにしていきます。
- 半年コース 《平成19年9月1日～国試直前》
国家試験全範囲をしっかりと講義していきます。翌日の復習テストが実践力を養います。
- 短期コース 《平成19年12月1日～国試直前》
短い期間で深い内容。点数アップにつながる要点、理解に必要なポイントをしっかりと伝授。
- 夏期ベーシック講座 《平成19年8月6～10日：全5日間》
有機化学と物理化学および薬理学を中心に「国家試験内容の一つ手前の基盤」をしっかりと講義。



- 完全少人数制！
- 平均講師歴十数年の専任講師陣！
- 考えて解く力を養うカリキュラム！
- ★途中入校・学校見学随時受付中！

お問合せ先
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-27-12
三井住友銀行高円寺ビル3F
フリーダイヤル：0120-55-1489
TEL 03-5377-3191 FAX 03-5377-2214
<http://www.ishiyaku-k.com>
e-mail: yaku@ishiyaku-k.com